

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課（放課後対策担当）

施設名称		〔41〕 東京都台東区立松が谷児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館 8 館、16 こどもクラブ					
(3)経営状況	〔27年度決算ベース〕〔社会福祉事業会計〕 収入2,816,804,521円， 支出2,832,987,406円， 収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区松が谷 4 - 1 5 - 1 1					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日を除く）：午前9時30分～午後6時一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5)規模	RC 4 階建 3・4 階 事務室・遊戯室・図書室・工作室・集会室兼音楽室等 松が谷保育園・松が谷こどもクラブ併設					
(6)人員体制	常勤職員 5 名、短時間職員 1 名、アルバイト等 2 名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	38,220,000	38,771,000	34,920,000	37,932,000	50,285,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	38,220,000	38,771,000	34,920,000	37,932,000	50,285,000
決算	委託料	39,169,219	39,008,613	38,797,658	39,183,619	41,058,304
	利用料金収入	0		0	0	0
	その他収入	110,000	557,520	319,385	16,300	8,300
	管理経費	39,279,219	39,566,133	39,117,043	39,199,919	41,066,604
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
開館日数		日	334	333	334	331
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度
利用者数		人	35,000	35,601	34,209	32,374

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

男性保護者を対象とした行事を取り入れ、より保護者同士の繋がりを図った。  
児童館たよりの配布方法や配布場所の再検討をし、利用したことのない児童への利用開拓に努めた。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	乳幼児親子の土日の利用が定着している。また、低学年向け遊具の充実により、低学年の新規利用者が増えた。
(2)施設の維持管理	A	乳幼児親子が安心して過ごせるように、床に敷いているキルティングマットを毎日洗濯し、感染症予防に努めた。
(3)利用者の満足度	A	保護司会、幼稚園、中学校、消防署など新しい地域の繋がりを増やし、さらなる地域連携を図った。
(4)収入支出	A	館内のエコ活動に関心が持てるように、表示の工夫を図り、省エネ意識を高めた。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	利用者は昨年度より、多少減少はしたが、地域の連携先を広げることで、児童健全育成の拠点としての役割の充実が図られた。
-----------	---

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

- 小学生低学年の利用が多いため、今後は、高学年や中高生の利用を増やすため、活動内容の工夫、曜日・時間の占用を図り、学習できる居場所の確保を進める。
- 男性保護者向けの行事の定期的な実施により、保護者同士の繋がりをさらに深め、育児支援を行っていく。